

教科		選 定 理 由
各学科に共通する教科（共通教科）	国語	内容が生徒の実態に即している。巻末資料等が充実しており、副教材を持たせることが難しい本校の実情に合っている。
	地理歴史	内容が生徒の理解状況に即し、適当である。また写真や図解が効果的に用いられており、生徒の理解を助けることができる。
	公民	基本的事項から発展的な内容まで丁寧な記述がなされている。また図版や写真が豊富であり、内容も分かりやすい。
	数学	内容が本校生徒の実態に即しており、適切である。
	理科	適度な説明で図・写真がわかりやすく、内容が適切である。
	保健体育	内容・表現がわかりやすく、イラスト、図、表も適切である。
	芸術	（音楽）内容・表現がわかりやすく使いやすい。 （美術）内容・表現がわかりやすく、印刷が美しい。 （書道）内容が系統的であり、配列や関連付けも適切で分量もよい。
	外国語	各課の導入部が図や写真を多く用いて生徒の興味を引き付けるものである。英文の量、難易度も適当である。
	家庭	内容が教科・科目の目標に適合している。
	情報	
	理数	
主として専門学科において開設される教科（専門教科）	農業	内容が系統的であり、教科・科目の目標に適合し、程度が本校生徒の実態に即している。また、イラスト・写真が多く、関連付けも適切であり、適切な創意工夫がなされている。
	工業	内容が教科・科目の目標に適合し、程度が本校生徒の実態に即している。また、写真・図版が多く、関連付けも適切であり、創意工夫がなされている。
	商業	
	水産	
	家庭	内容が教科・科目の目標に適合している。
	看護	
	情報	
	福祉	